

**平成26年度
北海道薬剤師会事業計画**

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

一般社団法人 北海道薬剤師会

平成26年度北海道薬剤師会事業計画（素案）

薬剤師会は、医学・薬学等の進歩に立脚した多岐にわたる薬剤師職能の向上に努め、社会の要請に応えていかなければなりません。

近年、道民の医療に対する知識の普及や意識の変化に伴い、医療提供体制の更なる充実が求められており、国からも、従前の病院完結型医療から、在宅、介護医療の推進・連携といった地域完結型の医療への一層の移行、推進を求められております。

地域完結型医療における薬剤師の役割として、従前からの業務に加え、患者の受診、入院、退院時という一連の流れにおける薬薬連携の推進や、退院後の在宅・介護医療に伴う、チーム医療の一員として、医師、看護師、ケアマネジャー等との多職種連携を通じ、安心して安全、シームレスな医療提供体制の推進が求められるほか、セルフメディケーションに役立てる薬局を地域に密着した健康情報の拠点とし、一般用医薬品等の適正使用に関する助言、健康相談、情報提供等を果たす役割も求められております。

本会では、これら薬局・薬剤師に求められる多くの職責に対応するために、地域医療支援センター薬局等事業の更なる拡大を図り、本事業で整備された「無菌調剤設備」を活用した実地での専門研修実施、同設備の共同利用、薬剤師不足地域への薬剤師派遣事業を含んだ就業支援対策などに、引き続き取り組んでいくとともに、関係機関・団体との協力・連携、薬剤師職能・薬局機能の向上、変革する社会情勢への対応、JPALSの活用を含めた生涯学習の充実、医薬情報活動の更なる拡充、薬学生実務実習受入、本会組織の基盤強化等の各種事業において、全ての薬剤師の連携強化を重点とした次の事業を展開してまいります。

1. 薬剤師職能・薬局機能の充実・強化対策
2. かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の啓発
3. 北海道医療計画を通じた医療連携体制（地域保健・医療・介護・福祉）への参画
4. 地域医療支援センター薬局等事業の遂行
5. 薬剤師生涯学習制度の充実と推進
6. 薬剤師養成のための薬学教育への協力と支援
7. 組織・広報活動の推進
8. 病院・薬局における安全管理体制の整備
9. 学校保健・環境衛生活動への貢献
10. 医薬品情報活動の充実強化
11. 災害時における協力体制の整備
12. 会員の相互扶助と福祉の向上及び親睦並びに顕彰
13. 薬局・病院等の職種・職域を越えた薬剤師の連携強化
14. 一般財団法人北海道薬剤師会公衆衛生検査センター及び北海道薬剤師国民健康保険組合等の団体が行う事業への協力

総 務 部

1. 会務の運営

- (1) 本会組織体制の円滑な運営に係る検討
- (2) 各部・各委員会及び各エリア・支部との連携を強化した適正な会務の運営
- (3) 委員の選出方法、役員任期等に関する規程及び規則の検討

2. 定款及び各種規程、規則等の整備

- (1) 本会事業の円滑な運営に際し、修正・策定を必要とする定款、規程、規則、細則等の検討並びに整備

3. 会員拡大の推進と組織の充実強化

- (1) 会員・支部活性化のためのエリア事業の推進
- (2) 組織力強化に繋がる既卒薬剤師に対する入会促進に関する検討
- (3) 学生及び、新卒薬剤師に対する薬剤師会組織の周知活動
- (4) 関係する各委員会との連携による新卒者への入会促進事業の推進
- (5) ITやテレビ会議システムを積極的に活用した円滑な会議の運営

4. 会員管理

- (1) 各部において必要な会員情報を有効に活用するための、包括的な会員管理システムの整備
- (2) 日本薬剤師会の進める会員情報電子化への対応
- (3) 将来的に活用出来る付加機能を備えた会員ネームプレートの作成

5. 広報活動の推進と会誌の発行

- (1) 北海道、市町村及び薬業関係団体等との緊密な連携、薬剤師職能の認識を深めるための広報活動の積極的な展開、北海道三師会開催等渉外活動の強化
- (2) 道薬誌の毎月発行の継続と内容の充実
- (3) 道薬ホームページの管理・運営
- (4) 道薬メールニュースの管理・運営並びに会員への迅速な情報提供
- (5) 薬学大会における写真展の企画・運営

6. 会員の相互扶助と福祉の向上並びに会員への顕彰

- (1) 日薬が行っている各種の保険、年金、共済部事業並びに道薬独自の賠償責任保険(薬局契約)制度の主旨の徹底による未入会の解消、会員の相互扶助と福祉の向上
- (2) 道薬独自の賠償責任保険(薬局契約)制度の内容の見直しについての検討
- (3) 会員の顕彰に係る事業の推進
- (4) 会員の福利厚生と親睦行事の企画及び実施

7. 災害時における体制整備

- (1) 北海道薬剤師会防災計画に基づいた災害発生時の体制整備の推進
- (2) 北海道の防災対策等への協力
- (3) 北海道薬剤師会防災計画の改訂
- (4) 北海道、日薬、道薬で協議されている防災・災害対策に係る内容を一元管理する、「防災・災害対策検討会議」の運営
- (5) 災害薬事コーディネーターの育成

8. その他

- (1) 北海道薬剤師国民健康保険組合事業への協力
- (2) 薬事会館入居団体との協調による会館運営
- (3) 北海道薬事会館並びに、北海道薬剤師会会営薬局研修室の管理・運営業務
- (4) 北海道薬剤師会管理の月極駐車場の管理運営業務
- (5) 事務局体制の強化と事務の効率化

財 務 部

1. 会計の適正処理

各支部・各部との連携を密にし、事業の推進と予算処理について、円滑かつ厳正、さらに細心の注意をもって行い、適正な会計処理に努める

2. 会計処理規程等の整備

3. 財産の適正な管理、運営

財産の管理、運営を適正に行い、維持保全に努めるとともに、会務運営の円滑化を図る

病診薬剤師部

病診委員会

1. 研修会の開催

- (1) 病院診療所薬剤師研修会
- (2) 薬薬連携シンポジウム
- (3) 感染対策研修会

2. 薬薬連携にかかわる調査の実施

- (1) 医療連携推進ツールと新たな情報提供方法の検討
- (2) 腎機能障害患者への薬物療法の情報提供
- (3) 消毒薬、抗菌薬適正使用情報の提供
- (4) 後発医薬品の評価
- (5) 病棟薬剤業務実施加算に関する事項

3. お薬手帳の普及促進

- (1) 各地区における調査と問題点の検証
- (2) 有効事例の収集と紹介
- (3) 新たなツールによる普及促進の検討

4. 退院時共同指導の推進

- (1) 退院時共同指導の推進に向けての働きかけ

(2) 退院時情報提供書の在り方の検討

学術部

学術4委員会並びに、ドーピング防止特別委員会は、薬剤師職能の評価、資質向上に資するよう北海道薬学大会の運営、生涯学習の推進、医薬品情報の収集・管理、薬学生実務実習の受入れ、道民の健康づくり等公衆衛生の向上並びに地域医療支援について、関係する委員会や各支部とも連携して次の事業を実施する。

1. 学術・情報委員会

(1) 北海道薬学大会の企画・運営

第61回北海道薬学大会

期日 平成26年5月24日(土)・25日(日)

会場 札幌コンベンションセンター

組織委員会、実行委員会、学術・情報委員会の開催、大会特別講演、ランチョンセミナーの企画、薬学生の招集

(2) 道薬誌の医薬品情報関係に関する内容についての検討

(3) 登録販売者資質向上研修会への協力

(4) 生涯研修システム「JPALS」への協力

(5) 医薬に関する各種情報・資料の収集・管理・提供

(6) 「ほっかいどう・おくすり情報室」の運営並びに相談事例集(毎年)の発行

(7) 北海道・東北ブロック薬事情報センター連絡協議会への参画

2. 生涯学習委員会

(1) 日本薬剤師会提案の生涯学習システム「JPALS」の認知と推進

(2) 会員の自己研修や支部開催では困難な研修会等をサポートする

(3) 大学と薬剤師会の連携により、「薬剤師の生涯学習プラットフォーム(基盤)」の構築を進め、薬剤師の効率的な生涯学習を支援する

(4) 登録販売者(配置)の資質向上に係る研修会への協力

3. 健康づくり委員会

(1) 道民向け健康づくり事業の推進

(2) 各支部における健康づくり事業への支援及び連携

(3) 北海道、北海道健康づくり実行委員会及び北海道老人クラブ連合会等との連携・協力

(4) 過量服薬対策、自殺予防対策に関する取り組み

(5) 薬物乱用防止啓発に関する取り組みと関係機関・団体との連携

4. 薬学実務実習委員会

(1) 薬学生実務実習の受け入れと体制の整備

(2) 薬局実務実習への支援

(3) 北海道病院薬剤師会並びに道内3大学との連携・調整

(4) 北海道地区調整機構との連携

(5) 認定実務実習指導薬剤師の養成並びに受入薬局の整備

(6) O S C E 評価者の養成および派遣

(7) 学校薬剤師部との連携

(8) 新モデルコアカリキュラムの実施へ向けての支援

5. 北海道薬剤師研修協議会の運営

- (1) 日本薬剤師研修センターとの連携による薬剤師生涯研修の推進
- (2) 研修モニター制度への協力

6. 学術団体との交流

学術4委員会並びに、ドーピング防止特別委員会は、薬剤師職能の評価、資質向上に資するよう北海道薬学大会の運営、生涯学習の推進、医薬品情報の収集・管理、薬学生実務実習の受入れ、道民の健康づくり等公衆衛生の向上並びに地域医療支援について、関係する委員会や各支部とも連携して次の事業を実施する。

薬局部

薬局部3委員会は、医薬分業の完成に向けた取り組みとして、北海道医療計画に示されている医療提供施設としての信頼される薬局・薬剤師業務や職能の確立、及び地域保健・医療・介護・福祉への参画を図るとともに、支部との連携により次の事業を実施する。

全般

- (1) かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師として、良質かつ適切な医療を行うための協力と啓発
- (2) 新薬事法・薬剤師法に基づく適切な医薬品販売の徹底
- (3) 関係機関・医療福祉関係団体と協調した、道民に有益な薬局機能の充実
- (4) 在宅医療への積極的な参画
- (5) 地域包括ケアを進める上での薬局機能と他職種連携の充実
- (6) 薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点の推進
- (7) 道民に対する医薬品等の適切かつ安全な使用に係る情報提供の推進とお薬手帳の活用啓発
- (8) 休日・夜間における医薬品等の供給体制の取り組みの確立
- (9) 感染症対策の推進並びに情報提供
- (10) 薬局・薬剤師の資質向上及び薬剤師倫理に則った薬剤師職能を全うすることを目的とした薬局薬剤師研修会の開催
- (11) 地域医療支援センター薬局運営協議会と連携した事業の実施
- (12) 病院薬剤師・薬局薬剤師の連携の強化
- (13) 日本薬剤師会事業の推進・周知
- (14) 薬局における安全管理体制等の推進・周知・啓蒙、並びに、日本医療機能評価機構「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」の普及

1. 薬局委員会

- (1) 地域に密着した「健康情報拠点薬局」作りと在宅参画の第一歩にむけた会員への支援
- (2) 北海道と協力した、地域に応じたかかりつけ薬局機能とセルフメディケーションの推進
- (3) 北海道薬剤師会認定基準薬局制度の新たな制度に向けての整備
- (4) 薬剤師職能を生かした薬局製剤・第一類医薬品・医療機器等の適正使用に向けて適切な情報提供及び周知
- (5) 高度管理医療機器・管理医療機器管理者継続研修会の開催
- (6) 新薬事法等の法令遵守の徹底並びに一般用医薬品の取扱・対面販売の推進
- (7) 管理記録簿・薬局掲示物の有効活用に基づく薬局等の管理の徹底

- (8) 薬局機能情報の届出・公表制度への協力
- (9) 日薬 DEM 事業への積極的な協力

2. 社会保険委員会

- (1) 保険薬局業務の質的向上の推進
- (2) 医薬分業指導者の育成・支援
- (3) 北海道厚生局及び北海道が実施する集団・個別指導・集団的個別指導、新規保険薬局の指定並びに保険薬剤師登録時講習への参加・協力
- (4) 適正な調剤報酬請求業務の周知徹底と支部研修会・講習会会員への相談応需並びに協力
- (5) 後発医薬品の使用促進を目的とした道民に対する啓発活動
- (6) 休日・夜間における医療体制の整備
- (7) 院外処方せん応需体制支援
- (8) 保険薬局掲示物一覧を活用した掲示関係法令遵守事項の周知徹底
- (9) 会営薬局を利用した保険薬局業務の実習並びに研修の企画

3. 在宅医療福祉委員会

- (1) 在宅医療推進のための関係法・省令改正について周知・対応
- (2) 在宅訪問薬剤管理指導・居宅療養管理指導に関するネットワークの構築
- (3) 日本薬剤師会地域・在宅委員会事業への協力
 - ① 在宅推進アクションプランの推進
 - ② 無菌調剤等の対応
 - ③ フィジカルアセスメント講習の開催
- (4) 体調チェックフローチャート・在宅資料集の作成・普及・活用
- (5) 各支部での在宅医療・介護保険制度等に関する研修会の支援
- (6) 介護保険における薬局・薬剤師の役割について周知・対応
- (7) 地域福祉計画に沿った薬局・薬剤師の役割について周知・徹底
- (8) 健康介護まちかど相談薬局の整備と道民への啓発活動
- (9) 在宅医療に関わる薬薬連携の充実
- (10) 多職種との連携・協働の推進
- (11) 地域包括支援センター等との連携強化
- (12) 会営薬局を利用した在宅医療業務の実習並びに研修の企画
- (13) 地域医療支援センター薬局整備等事業の研修事業の支援
- (14) 基幹薬局における業務並びに研修事業の支援
- (15) 各薬剤師におけるケアマネジャー・介護認定審査員の情報共有の推進
- (16) 福祉用具貸与・購入、家族介護支援事業の支援

4. 医療安全特別委員会

- (1) 薬局における平時の安全管理体制の整備の推進と、調剤行為に起因する問題・事態が発生した際の対応と、マニュアルの周知
- (2) 医薬品に係る情報提供・相談体制の整備の推進
- (3) 医薬品の安全使用のための業務手順書の整備の推進

5. その他

- (1) 「薬と健康の週間」行事の実施と道民に対する薬の正しい知識の啓発
- (2) 北海道並びに各市町村の実施する健康推進事業への積極的な協力
- (3) 「薬局等における医薬品の試験検査の実施要綱」に基づく計画的試験の品目等の検査、薬局等構造設備規則による北海道薬剤師会公衆衛生検査センター施設利用契約によ

る技術研修会への参加・協力

学校薬剤師部

学校薬剤師の資質向上並びに学校環境衛生・健康教育の充実・強化に努め、より地域保健推進に貢献するため次の事業を実施する。

1. 学校薬剤師の資質向上に関する事項

- (1) 第61回北海道薬学大会における北海道学校薬剤師会総会の開催
5月25日(日)札幌コンベンションセンター
- (2) 平成26年度北海道学校薬剤師大会の開催
11月29日(土)恵庭市
- (3) 学校薬剤師に関する大会、講習会、協議会への出席、研修への協力
 - 1) 平成26年度薬物乱用防止教室講習会 未定
 - 2) 第49回北海道学校保健学会 10月 札幌市
 - 3) 平成26年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会
10月2日・3日 岡山市
 - 5) 第63回北海道学校保健研究大会 11月30日 恵庭市
 - 6) 第64回全国学校薬剤師大会 11月6日 金沢市
 - 7) 第64回全国学校保健研究大会 11月6日・7日 //
 - 8) 平成26年度学校保健講演会 平成27年3月 札幌市
 - 9) 平成26年度日本薬剤師会学校薬剤師部会学校薬剤師研修会
未定
 - 10) 平成26年度日本薬剤師会学校薬剤師部会学校環境衛生検査技術講習会
未定

2. 調査研究並びに指導に関する事項

- (1) 会員の調査研究活動の推進
- (2) 「道学薬」(北海道学校薬剤師会会誌)(第11号)の発行
- (3) 平成26年度全国学校保健調査実施の協力
- (4) 薬学生実務実習への協力と支援
- (5) 災害時における学校薬剤師の活動支援
- (6) 食物アレルギー対策等学校内で使用する医薬品の指導助言について
- (7) ホームページ等による迅速な情報周知体制の確立
- (8) 放射線に関する調査・研究

3. 学校環境衛生検査に関する事項

- (1) 学校環境衛生基準の周知と検査実施の支援
- (2) 学校給食の定期衛生検査等への助言・協力について
- (3) 理科薬品の管理の指導助言について

4. 健康教育活動等の推進に関する事項

- (1) 学校保健委員会活動の推進
- (2) 医薬品教育並びに授業参画への推進
- (3) 違法ドラッグ(脱法ハーブ)等薬物乱用防止に関する啓発活動の推進
- (4) ワーキンググループによる健康教育資材(CD)の作成と配布
- (5) ドーピングに関する啓発活動の推進
- (6) インフルエンザ等の感染症対策に関する指導助言

5. 組織に関する事項

- (1) 市町村学校薬剤師会長会議の開催
- (2) 学校薬剤師未設置対策及び適正配置の推進
- (3) 幼稚園薬剤師配置の推進
- (4) 全道市町村学校薬剤師活動の実態調査の実施
- (5) 学校薬剤師名簿の整備
- (6) 地方支部並びに地方学校薬剤師会との連携強化

6. 学校保健関係者の表彰に関する事項

- (1) 北海道学校薬剤師会表彰の実施
- (2) 文部科学大臣表彰候補者の推薦
- (3) 日本薬剤師会学校薬剤師表彰候補者の推薦
- (4) 北海道学校保健会功労者表彰候補者の推薦

7. 関係機関や関係団体と連携並びに協力に関する事項

- (1) 北海道教育委員会との連携並びに協力
- (2) 北海道が実施するフッ化物洗口事業への協力
- (3) 北海道養護教員会との連携並びに協力
- (4) 北海道学校保健会との連携並びに協力
- (5) 北海道学校保健学会への協力